

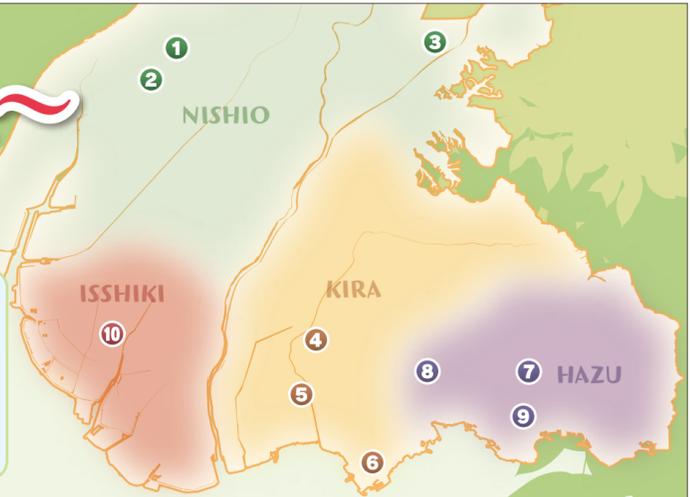
～地域の皆様に支えられて「文化の森」は300号を迎えました～

300号
記念特集

西尾市の文化財

「文化の森」発刊300号を記念し、西尾市の文化財をご紹介します。

西尾市は、国指定10件、県指定47件、市指定166件の文化財を有しています。市民やまちが誇る、歴史や文化の大きな財産です。 ※2017年2月15日現在



皆様のご愛読、ご支援に心より感謝を申し上げます。

月刊生涯学習情報誌「文化の森」は300号を迎えることができました。

「文化の森」は25年前、お世話になっている地域へ、印刷を通して貢献したいという思いから誕生いたしました。長きに渡って発刊が実現できたのは、ひとえに情報をご提供いただく方、情報をもとに活動される方、応援いただくスポンサー企業様、そして地域の皆様のおかげと厚く感謝申し上げます。

これからも生涯学習情報を発信したい方の、そしてそれを活用する方の、同時に地域の活性化、文化振興の一助となるべく、情報収集すること、そして皆様にお届けすることに一層努めてまいりますので、ご支援ご協力のほど心よりお願い申し上げます。

ブリ・テック株式会社 代表取締役社長 高井 英和

知や感動と出会うお手伝い、
続けています。

地域の皆様の生涯学習を応援し、「文化の森」は創刊から20余年、
300号を発刊することができました。

地域と文化をつなぐスポンサー様

西尾信用金庫様
(株)西尾中日サービスセンター様

(株)中日新聞富田専売所様 (有)中日新聞平坂専売店様

「文化の森」について

地域の生涯学習情報を、発信者と受け手の立場から支援する月刊誌です。西尾市全域に毎月20日、新聞折込みを利用してお届けしています。

無料で情報提供の場をご提供。
文化的活動で営利を目的とせず、地域のために役立てたい個人や団体に学習情報を伝える場を提供します。

楽しく学び、心豊かな毎日を。
新聞折込みを通じ、手軽に得られる学習情報などで自身が充実し、また人と人との新たな交流が生まれます。

活力ある地域社会づくりに貢献。
情報の発信者も受け手も活動続ける中でコミュニケーションがひろがり、地域社会の活性化にもつながります。

書物の世界が、知的興味を満たす生涯学習の場。 西尾市岩瀬文庫からのお知らせ

企画展「縁起の不思議な世界
～聖と、俗を、結ぶ～」

平成29年4月22日(土)～6月25日(日)

古文書講座「縁起を読んでみよう」
と き:6月18日(日) ①午前10時～②午後1時30分～
と ころ:岩瀬文庫地階研修ホール
定 員:各回30名 資料代:100円
※要予約。6月3日(土)から受付開始

体験講座「和装本を作ってみよう」
と き:6月4日(日)午後1時30分～
定 員:20名 参加費:200円
と ころ:岩瀬文庫地階研修ホール
対 象:小学生以上 ※要予約。5月13日(土)から受付開始。



①後奈良天皇宸翰般若心経

国指定・書跡
宸翰とは天皇直筆の文書のこと。国に混乱が続く中、後奈良天皇が平安を祈り、紺色の紙に金泥を使って般若心経を書き、諸国の一宮に奉納しました。

所在 西尾市岩瀬文庫
時代 室町時代後期

②三河万歳

国指定・無形民俗文化財
太夫(たゆう)と才蔵(さいぞう)が賀詞を掛け合いながら舞い、新年を祝福する民俗芸能です。全盛期には徳川家によって、名字帯刀などが許され優遇されました。

保存団体 西尾市三河万歳保存会



③神明社の大シイ

国指定・天然記念物
県下最大のスタジオ(ブナ科の常緑高木)で、樹齢約1,000年と伝えられています。根回りは約20m、主幹は枯死していますが、2本の枝幹とひこばえが繁茂しています。

所在 上永良神社



④金蓮寺弥陀堂

国指定・建造物
県内最古の木造建築物で、源頼朝が三河守護に建立させたと伝えられています。深い軒と緩やかな屋根の曲線が、見る位置によって異なる表情を見せる優美なお堂です。

所在 吉良町巖庭 金蓮寺
時代 鎌倉時代中期



⑤木造阿弥陀如来坐像

国指定・彫刻
鎌倉幕府3代将軍源実朝を供養し、夫人が京都に建立したお寺の本尊でしたが、廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)の影響により、当寺の本尊に安置されました。鎌倉時代の仏像の特徴を備えています。

所在 吉良町吉田 専長寺
時代 鎌倉時代



⑥幡頭神社本殿

国指定・建造物
三間社流造、屋根は椀皮葺(ひわたぶき)で大きく反り返った美しい庇が特徴的です。堅実な手法で細部に施された絵様(彫刻など)は雄健な曲線を用いています。

所在 吉良町宮崎 幡頭神社
時代 桃山時代



⑦鯛口

市指定・工芸
鯛口とは神社仏堂の軒先に吊り下げ、参詣人が打ち鳴らして礼拝するものです。径は18cm、重さは2kgで、奉納したと推定される願主名などが印刻されています。

所在 西幡豆町北ノ入 龍蔵院
時代 室町時代



⑧鳥羽の火祭り

国指定・無形民俗文化財
鳥羽神社創建の大同年間(806年～809年)から続くといわれる火祭りです。その年の豊凶を占うため、燃え盛る大松明に神男と奉仕者が飛び込む勇壮な祭りです。

所在 鳥羽町西迫 鳥羽神社



⑨椰子実水飲・金紫銅之水容付 三葉葵の紋付袋並に箱

市指定・工芸
二品は徳川家康の遺品として伝わっています。水飲は半割りした椰子の実の内側に朱漆を塗ったもので、水容(碗に使う水入れ)は鍔鋼製の鍍金仕上げです。

所在 西幡豆町講伏 安楽寺



⑩一色の大提灯六組

県指定・有形民俗
諏訪神社の海魔退散を祈るかつての祭りに奉納した巨大な提灯です。歴史などが題材の絵が極彩色で描かれ、最大の提灯の胴回りは直径5.6m、長さ10.0mです。

所在 一色町宮添 諏訪神社 一色大提灯保存会



⑪八劍神社本殿

県指定・建造物
一つの覆殿の中に八劍神社本殿と神明社本殿が並んで鎮座しています。一間社流造、柿葺(こけらぶき)で江戸初期の再建と推定され、正面の彫刻が特徴的、保存状態も良好です。

所在 一色町佐久島 八劍神社・神明社
時代 江戸時代前期



⑫木造如意輪観音菩薩像

県指定・彫刻
右手を頬に当てる思惟相(しゆいそう)をとり、左手は地に置き、右膝を立て両足裏を合わせて座る像です。胎内に墨書があり、制作の時期などがわかります。

所在 一色町佐久島 阿弥陀寺
時代 桃山時代



